

『互いを認め合い、すすんで学び続ける生徒の育成』

* 校区小中学校共通目標として設定

＜重点目標＞

「共有」・「協働」・「共育」を基盤とした教育活動の実践

＜学校経営方針＞

- ・「わかる」・「いえる」・「かかわりあう」授業の実践 (学力)
- ・「マナー」・「モラル」・「ルール」が守れる生徒の育成 (自己教育力)
- ・「つながり」を大切にできる生徒の育成 (人間力)

＜具体的実践内容＞

○学力実態を捉えた、「わかる」・「いえる」・「かかわりあう」授業の実践

- ・教員個々が力を発揮した授業を展開する。
- ・学習規律を基盤とした、「習得」・「活用」・「深化」を意図した授業を展開する。
- ・きめ細かな指導を目指した少人数・TT授業の積極的な展開を図る。
- ・生徒の自主的な学習を支える活動を推進する。

○「マナー」・「モラル」・「ルール」が守れる生徒の育成

- ・道徳授業を通して、「道徳的判断力」や「認め合う意識」を育成する。
- ・生徒の実態に応じた人権学習の展開を図る。
- ・生徒会活動をしっかりと支える。
- ・「法令遵守の態度」の定着に向けた指導を継続的に展開する。

○「つながり」を大切にできる生徒の育成

- ・子ども同士がやさしくつながっていける取組を展開する。
- ・「困り」のある生徒への支援やその方法の協議をすすめる。
- ・環境とのつながりを考え、「環境にやさしい取組」を実践していく。
- ・地域とのつながりを考え、地域活動への積極的な参加をすすめる。